

確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐむ 学校力向上プラン【学校評価計画書】

中学校区におけるめざす子ども像
・仲間とともに学びに向かえる子(確かな学び) ・自分のよさを知り、人とつながり協働する子(豊かな心) ・ゆめの実現に向かって粘り強く取り組み、活力ある生活を送れる子(健やかな体)

堺市立美原中学校
校長 新田 義政

令和7年度 重点目標
1. 「総合的な学力」の育成 (1)「学びの共同体」を基にした本校独自の学び合いの創造 (2)家庭学習習慣の形成 (3)読解力の向上 2. 豊かな心の育成 (1)人権教育の推進 (2)道徳教育の推進 3. 信頼関係を基盤にした生徒指導 (1)自ら考えて正しい行動ができる生徒の育成 (2)生徒理解の徹底と信頼関係の構築 (3)不登校の効果的な支援 4. 特別支援教育の推進 (1)障害の状況に応じた指導の充実 (2)特別支援委員会の機能の充実 (3)個に応じた特別支援教育の充実 (4)通級指導教室との連携 (5)自立につながるICTの活用 5. 小中一貫連携の取組 (1)授業研修 (2)家庭生活習慣の改善 6. 信頼される教員の育成

確かな学びの現状(全国学力・学習状況調査、チャレンジテストの分析より)
【国語】「読むこと」の得点率は府平均より3ポイント高く、読解の能力は高まっている。ただし、「書くこと」の得点率が依然低い。書く力をつける必要がある。無回答率0%である設問が7問あり、府平均を上回っている。問題に取り組む意欲が高いので、問題文をよく読む習慣をつけていく。【英語】読むことに関しては府平均から大きな差がなかったが、聞くこと、書くことはともに低い結果が出た。特に書くことは他の問題と比べても無回答率が著しく高く、問題の間われていることを理解することもできていないと考えられる。取り組んできた「読解力」はついている学年もみられる。
豊かな心・健やかな体の現状(全国学力・学習状況調査、チャレンジテストのアンケート結果より)
・朝食を毎日食べている生徒の割合が低かった。また、睡眠に関するアンケート項目についても全国平均を下回り、生活習慣に関する項目では、規則正しい生活リズムの構築に課題がある結果が出ている。自分に合った睡眠時間の確保は、生活の基本となることを指導していきたい。
・スマートフォンを使用する時間が長く、宿題以外の家庭学習に取り組む時間が短いことを改善していく必要があり、家庭と連携できるように取り組みたい。

Table with 10 columns: 大項目, 中項目, 具体目標, 具体的な取組, 判断基準, 評価方法, 評価時期, 進捗確認, 達成状況(年度末), 自己評価, 学校関係者評価. Rows include categories like '確かな学び', '豊かな心・健やかな体', and '信頼関係を基盤にした生徒指導'.

校長より(年度末)
学校関係者評価者から(年度末)
お名前()